

## 『大会発表論文集』(Proceedings) 執筆規定

### 第 28回 『大会発表論文集』(Proceedings) (第 21 号)

日本語用論学会では、2005 年度より、毎年の大会で発表された論文をとりまとめ、大会後に『大会発表論文集』を発行しています。つきましては、大会の「研究発表」「ポスター発表」「ワークショップ」「シンポジウム」にて発表されました皆様は、以下の要領で原稿をご提出くださいますようお願ひいたします（なお、投稿を希望されない方は提出不要です）。

※投稿に際しては、以下の執筆規定を厳守するようお願ひいたします。

※不備がある場合は掲載されないことがあります。例年、独自の様式で投稿されたり、締切後に提出・差し替えを希望されたりするなど、編集業務に支障をきたす事例が散見されます。本執筆規定に沿った投稿をお願い申し上げます。

#### 執筆規定

##### 1. 用紙・ページ数

A4 サイズ、横書き（段組みは1段）、8 ページ以内（注：要旨、参照文献を含む）

ワークショップについては、「発表ごと」に8 ページ以内

ワークショップ全体の概要については、任意で追加してもよい（4 ページ以内）

##### 2. 書式

a. 余白は上下 30mm 左右 25mm とする。すべて横書き

日本語の場合：10.5 ポイント 1 行 38 文字 1 ページ 32 行

英語の場合：12 ポイント 1 ページ 32 行

推奨フォント：日本語 MS 明朝、游明朝など

英語 Times New Roman, Palatino Linotype など

b. 原稿の1 ページ目は、タイトル（中央揃え）、氏名（右揃え）、所属（E-mail アドレスは任意）を記し、そのあと 2 行空けて要旨、1 行空けてキーワード、2 行空けて本文を続ける。

※共著論文の場合は、著者ごとに「氏名（所属）」の様式にて右揃えで記す。

- c. 「はじめに」または「序論」の節は「0.」からではなく、「1.」から始める
- d. 例文の前後は1行、各節の前は1行空ける
- e. 原稿のヘッダー・フッターには何も記載しない
- f. 注を付ける場合は巻末とし、本文と参照文献の間にまとめて入れる
- g. 参照文献のフォーマットは『語用論研究』の投稿規定・スタイルシートに従うこと

（本学会のHP [https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution\\_rule.html](https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution_rule.html) 参照）

### 特にご留意いただきたいこと

- (1) 英語の文献と日本語の文献を混在させて、アルファベット順に並べる
- (2) 英語の文献名は、内容語の語頭は大文字、機能語の語頭は小文字にする

### 3. 要旨

- a. 要旨は（日本語論文も含め）全て英語によるものとし、約100 wordsで書く
- b. 要旨の前には<Abstract>（Aは大文字）と記し、行頭をインデントしない

### 4. キーワード

- a. 要旨の下に1行空けて以下のように記す（5つ以内）  
【キーワード】：○○・△△・□□・◇◇・▽▽（日本語版）  
【Keywords】：○○, △△, □□, ◇◇, ▽▽（英語版）
- b. キーワードと本文との間は2行空ける

## 【その他の注意事項】

### 1. 論文の内容について

内容は、大会発表に沿ったものとする。タイトルの変更は不可だが、内容について、発表時のコメントをふまえて修正を加えることは妨げない。

### 2. 使用言語について

発表言語に合わせる

### 3. 『語用論研究』への投稿について

『大会発表論文集』に掲載した内容は、さらに発展させて『語用論研究』に投稿することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。

## 【原稿の提出方法】

原稿ファイルは[こちら](#)から提出する。但し、シンポジウムやワークショップの場合には、代表者が全員分を取りまとめて投稿する。

## 【原稿の提出期限】

**2026年3月18日（水）23:59（日本時間）**

\* 上記の締切日時の時点で未提出のものは「投稿を希望されない」と判断しますので、ご了承ください。

## 【お問い合わせ先】

日本語用論学会 大会総務委員会 発表論文集（プロシーディングズ）担当：中馬隼人

[proceedings@pragmatics.gr.jp](mailto:proceedings@pragmatics.gr.jp)

※投稿に関するお問い合わせは、2026年3月11日（水）までにお願いいたします。